

区割り関係要望書概要（第一次）

	提出者	団体所在地区	署名数	要望内容
区割りに関する 意見・要望	坂井輪地区自治振興会	新潟市坂井輪地区	1	A(案)に賛成 区役所を新設する場合は、人口の密集度、交通網の整備状況、区役所用地の確保が容易である等の、適正な基準により判断されることを希望する。
	黒埼地区連合自治会 会長	新潟市黒埼地区	1	西地区及び坂井輪地区を包括するA案を妥当とする。
	五十嵐地区自治会長協議会 会長・東五十嵐自治会長 同 副会長・五十嵐二の町東自治会長 同 副会長・清心町自治会長 新大駅前自治会長 南五十嵐自治会長 大学東自治会長 エバーグリーン五十嵐自治会長 オアシス会自治会長 大学東ヶ丘自治会長	新潟市坂井輪地区 新潟市内野地区	10	A案が最も望ましい。 新市の人口から考えて1区10万人前後の7区とするのが妥当である。
	浦山地区自治協議会 会長	新潟市坂井輪地区	1	A(案)に賛成 但し、現状のまま関屋中学校へ通学できるように配慮してほしい
	沼垂地区町内連合会 会長	新潟市沼垂地区	1	地域コミュニティの基である沼垂小学校区および東新潟中学校区を原則として、B案を要望。
	高美町自治会長 高美中央自治会長 外 住民78人	新潟市曾野木地区	80	高美町は鳥屋野地域の区割り内を強く要望する。
	新石山5丁目自治会 会長 石山第一自治会 会長 石山第二自治会 会長 石山第七自治会 会長 石山第六自治会 会長 石山第四自治会 会長 石山第五自治会 会長 石山第三自治会 会長 石山商工協議会 会長	新潟市石山地区	9	4区に反対。1つの案・同じパターンだけでは不公平であり、誠実さに欠ける。 別案として、亀田町・横越町を4区から除外し、新潟市域だけで4区とする。 別案として、亀田町・横越町を離し、生活の一体性がある木戸地区を入れた4区とするのがより自然と考えられる。 曾野木地区・山潟地区・石山地区はさらに都市化され、人口95%以上占めるこの地区に区役所を作るべきである。 鳥屋野潟を中心とした弁天線・赤道線を最大限に活用し、高速道路のICも視野に入れた地域経済活性化に結びつくよう、政令市として他にない特徴あるまちづくりをすべき
	中野山南自治会 会長 朝日ヶ丘自治会 会長 新中野山自治会 会長 中野山自治会 会長 下馬自治会 会長 居浦自治会 会長 明和自治会 会長 グリーントウン東新潟壱号館自治会 会長 グリーントウン東新潟弐号館自治会 会長	新潟市石山地区	9	4区に反対。1つの案・同じパターンだけでは不公平であり、誠実さに欠ける。 別案として、亀田町・横越町を4区から除外し、新潟市域だけで4区とする。 別案として、亀田町・横越町を離し、生活の一体性がある木戸地区を入れた4区とするのがより自然と考えられる。 曾野木地区・山潟地区・石山地区はさらに都市化され、人口95%以上占めるこの地区に区役所を作るべきである。 鳥屋野潟を中心とした弁天線・赤道線を最大限に活用し、高速道路のICも視野に入れた地域経済活性化に結びつくよう、政令市として他にない特徴あるまちづくりをすべき 巻町の合併を視野に81万都市の区割りを検討すること。 一つの区を10万人前後にすることを目安にすべき。(将来をある程度考慮して)
	公明党議員団	新潟市全域	1	5区及び6区案も提示し、それぞれの複数案を作成、公表されたい。
	沼垂小学校PTA会長 他71人	新潟市沼垂地区	72	コミュニティを分割する案には反対し、学校区を分割する区割りとならないよう要望する。
新潟市小中学校PTA連合会	新潟市全域	1	PTAの活動は行政や学校と連携して進めていくことが何より大切ですから、その組織も行政における組織ときちんと重なっていることが不可欠の前提であり、行政区との「ずれ」があっては、市P連運営の上いろいろ差し支えが生じる。 特に問題になると思われるのは、1つの学校区が2つの行政区に跨がるような形態であり、そのような例があると、PTAの実際の活動や連携の面で幾多の錯綜した問題や混乱が生じることは今から想像に難くない。	
	合 計 (10団体)		186	

要望書については、個人連名で記載してあるものについては人数を、自治・町内会等の団体が連名で記載してあるものについては団体数を件数とした。
第一次意見募集終了後に提出された意見を含む